

# 親子聖書日課

NO.1737 2022.1/9-15

名前

[日]復活の主に出会った人は、自分の救いだけで満足してはいけません。「救い出し…遣わす」17節とあるように、主を伝える使命が与えられています。「恵みの分け前」を独り占めしてはいけません。どんな機会も逃さず、主を伝えましょう。

[月]伝道するのは、「私のようになって」欲しいからです。それは、主の救いの恵みを私のように経験して欲しいからです。パウロは「頭がおかしい」と誤解されても、ためらわず伝道しました。「私のようにならないで」これでは伝道になりません。

[火]百人隊長は聖霊に導かれたパウロの言葉より、船長や船主の経験に基づく言葉を信じて豪風に遭い、難船しました。御言葉より、常識に頼る人は失敗します。「主の言葉に従います」御言葉への謙遜さを持つなら、試練も乗り越えられます。

[水]主に聴き従うことによってリーダーとされた者は、他人の気づかない危険をいち早く察知して、適切な手を打たなくてはなりません。パウロは船員の逃亡を防ぎ、一同に食事をさせ、全員を無事上陸させました。それは聖霊に示されたからです。

[木]マルタ島の人々はマムシにかまれたパウロのことを「人殺しだ」「神様だ」と色々なことを言いました。しかし、彼は病人を癒し、人々に仕えただけです。人の評価を気にしては、主のために働くことはできません。パウロに倣いましょう。

[金]パウロは憧れのローマに着き、そこでも主を伝え、諸教会に手紙を書きました。これで使徒言行録は終わりますが、この続きは私達に託されました。今日も同じ聖霊が働いています。使徒達のように大胆に伝道するなら、救霊の業が進みます。

[土]私達に「果たすべき責任(返すべき負債)」があることを知っていますか。それは福音を伝え、救いに導く責任です。家族、友人だけではなく、世界中の人に福音を伝える責任があります。この重大な責任を、主の力を頂いて、果たしましょう。



©fumino

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 26:1-18	あなたを救い出し、彼らのもとにどうするとパウロは主張しましたか。	
月	26:19-32	すべての方が誰のようになって下さることをパウロは祈りましたか。	
火	27:1-26	百人隊長は誰の方を信用しましたか。	
水	27:27-44	船は失うが、皆さんのうち誰一人として何を失う者はないですか。	
木	28:1-16	パウロは何にかまれたが、何の害も受けませんでしたか。	
金	28:17-31	パウロは誰について教え続けましたか。	
土	ローマ 1:1-15	果たすべき何がありますか。	
感想と祈りの課題			